

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第4部門第1区分  
 【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公表番号】特表2003-518576(P2003-518576A)  
 【公表日】平成15年6月10日(2003.6.10)  
 【出願番号】特願2001-548839(P2001-548839)  
 【国際特許分類】

**E 2 1 B 15/02 (2006.01)**

**B 6 3 B 35/00 (2006.01)**

**B 6 3 B 35/44 (2006.01)**

【FI】

E 2 1 B 15/02

B 6 3 B 35/00 M

B 6 3 B 35/00 R

B 6 3 B 35/44 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月19日(2007.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 動的に位置制御可能なタンカーと、該タンカーの甲板に搭載される直接井戸介入設備とを有し、

前記直接井戸介入設備は、アンダーバランス非回転穿孔と、前記タンカーの貯蔵タンクに接続された炭化水素液体分離用の設備とを含み、

分離された炭化水素液体を前記タンカーに貯蔵することができるようにした海底井戸介入船。

【請求項2】 前記井戸介入設備は、シャトルタンカーの主甲板上の上部構造に搭載される請求項1に記載の船。

【請求項3】 コイル管穿孔設備がスキッド甲板の近傍に搭載され、該スキッド甲板は当該コイル管穿孔設備が接続される井戸ライザー上の舷外位置に移動されるようになっている請求項1または2に記載の船。

【請求項4】 コイル管穿孔設備がムーンプールの近傍に搭載され、該ムーンプールは当該コイル管穿孔設備が接続される井戸ライザー上に配置されている請求項1または2に記載の船。

【請求項5】 沖合アンダーバランス穿孔を行う方法において、

甲板に直接井戸介入設備が搭載されたタンカーを海底井戸から延びるライザー上に動的に位置制御し、

前記井戸介入設備を前記ライザーに接続し、

アンダーバランス非回転穿孔を行い、

得られる多相混合物を前記タンカー上で分離し、

分離された炭化水素液体を前記タンカーの貯蔵タンクに貯蔵する方法。